

九州新幹線西九州ルート竹松高架橋工事のようす



# 将来を見据えた都市像

## 【都市づくり】

大村市は、道路網や上下水道施設などの都市基盤が整う良好な居住環境によって、県内でも有数の住みやすい都市として発展してきました。また、現在も「長崎県立大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館」（仮称）の整備など、大規模なプロジェクトが進行しており、さらなる都市機能の充実が図られています。

さらに、平成34年度の九州新幹線西九州ルートの開業を控え、空港、高速道路など充実した高速交通体系を活用することにより、にぎわいの創出や交流機能の向上など大きな可能性も秘めています。

こうした市の発展や成長の一方で、将来的な人口減少や高齢化を踏まえ、これまでのように市街地を拡大するのではなく、既存の基盤施設を有効活用しながら都市機能を集約し、公共交通の利便性を高めるなど「集約型の都市づくり」が求められています。

そこで、平成29年に「大村市立地適正化計画」を策定し、「コンパクトシティ・プ



都市計画道路池田沖田線



国道34号与崎交差点付近

# 大村の都市計画

## 都市計画道路

平成28年3月31日現在  
[単位km]

路線数	計画延長	改良済延長	未改良延長	改良率	
18	47.64	33.83	13.81	71.0%	
主要幹線道路	3	19.04	16.25	2.79	85.3%
都市幹線道路	10	21.15	14.02	7.13	66.3%
補助幹線道路	5	7.45	3.56	3.89	47.8%

## 都市計画公園

平成28年3月31日現在

	住区基幹公園			都市基幹公園		特殊公園	大規模公園	合計
	街区	近隣	地区	総合	運動		広場	
箇所数	38	2	1	1	1	3	1	47
面積(ha)	6.25	1.60	7.00	21.40	22.10	16.70	0.96	76.01

## 公共下水道

平成28年3月31日現在

計画区域面積	2,548ha
処理区域面積	2,284ha
計画区域人口(A)	84,461人
処理区域人口(B)	84,277人
普及率(B/A)	99.8%

## 用途地域

平成28年3月31日現在

	面積(ha)	割合(%)
大村都市計画区域	5,987	100.0
用途地域	2,336	39.0
住居系	1,396	23.3
第1種低層住居専用地域	381	6.4
第1種中高層住居専用地域	159	2.6
第2種中高層住居専用地域	101	1.7
第1種住居地域	721	12.0
準住居地域	34	0.6
商業系	196	3.3
近隣商業地域	71	1.2
商業地域	125	2.1
工業系	744	12.4
準工業地域	533	8.9
工業地域	147	2.4
工業専用地域	64	1.1
無指定地域	3,651	61.0

ラス・ネットワーク」のまちづくりを推進することにより、持続可能な都市構造の実現に向けた取り組みを進めています。

**「景観づくり」**

本市は、緑の多良山系から丘陵地と平坦な市街地まで緩やかにつながり、穏やかな大村湾に面するなど、海、山、川と豊かな自然に恵まれた風光明媚な景観が特徴です。自然豊かなまちなみに彩られた景観は、市民にうるおいやすらぎを与えています。

こうした良好な景観を守り、育て、創るため、平成27年に「大村市景観計画」を策定し、「市民をつみ込む」のびのびひろびろとした海と山が連続する大村の景観づくり」の理念のもと、特性を活かした景観形成に取り組んでいます。

特に、歴史的な景観を多く残す上小路周辺地区を、「景観形成地区」に指定し、住民とともに歴史的なまちなみを維持、保全し、景観の特性を活かした街なみ環境整備を推進しています。

全ての景観の調和を大切にし、周知・啓発活動や景観形成の活動支援などを総合的かつ継続的に進め、市民、事業者、行政が一丸となった景観づくりに取り組んでいます。



景観形成地区(上小路周辺地区)



森園公園